

国内大会開催方法の方針について

2021 年 7 月 7 日

NP0 法人日本ブラインドサッカー協会
事業推進部大会運営グループ

1. 大会の定義

【国際大会】

大規模大会：ワールドグランプリ

【国内大会】

大規模大会：ブラインドサッカー日本選手権、クラブチーム選手権、ロービジョンフットサル日本選手権

中規模大会：ノーマライゼーションカップ、ワンデイカップ

2. 大会関係者の定義

- ・大会運営スタッフ＝JBFA スタッフ
- ・重要ステークホルダー＝業務委託元の地方自治体、大会スポンサー企業
- ・大会運営ボランティア＝元インターン、コアボランティア、重要ステークホルダーから募るボランティア
- ・大会運営一般ボランティア＝JBFA 公式 HP 等での公募で参加するボランティア
- ・大会関係スタッフ＝演出等の JBFA から業務委託スタッフ
- ・チーム関係者＝チームの選手、監督、チームスタッフ
- ・クラブチーム＝JBFA に登録をしている国内クラブチーム
- ・審判団＝JBFA 審判部のスタッフ
- ・医事スタッフ＝JBFA 医事部のスタッフ
- ・観客＝ブラインドサッカーを観にくる人
- ・特定できる観客＝大会後に連絡を取ることができる重要ステークホルダーが関係する観客、みらいパートナー、青組
- ・不特定多数の観客＝上記以外の一般の観客
- ・メディア＝JBFA オフィシャルカメラマン、取材申請をしていただいたメディア

3. 前提

- ・JBFA は、新型コロナウイルスへの感染対策を十分に講じたうえで事業を行っていく
- ・JBFA が主導して全チーム関係者に PCR 検査を受けていただくことは現実的に難しい
- ・トレーニング時の留意事項や大会参加条件を厳しくすることにより下記の「4. 方向性」を達成していきたい
- ・大会現場で感染者・クラスターを発生させないことは JBFA の事業の継続だけではなく、各クラブチームの大会参加や活動の継続を担保していくことになる
- ・各クラブチームにも高い意識を持って感染予防対策に取り組んでいただきたい

- ・新型コロナウイルスによる自身スタンスや考え方は、JBFA と各クラブチームの間、またクラブチーム間でも、異なってくることは想定される

4. 方向性

- ・大会を開催させる
- ・全ての大会関係者が安心して大会に参加できるようにする
- ・大会現場に新型コロナウイルスを持ち込ませない
- ・大会現場で新型コロナウイルスの感染者を発生させない
- ・大会現場を新型コロナウイルスのクラスター発生場としない
- ・全ての大会関係者が大会終了後感染源とならない

以下の方針は 2021 年 7 月 1 日～8 月 3 1 日に行われる国内大会を対象とする。

2021 年 9 月以降の大会については 2021 年 8 月以降に方針策定（予定）

文末に（※）がついているものはクラブチームに義務として課す項目

5. 大会開催条件定義

- ・大会開催は、国内大規模大会、国内中規模大会ともに大会開催 1 ヶ月前に下記の（ア）の宣言が発令されていないことを条件とする

（ア）大会開催都市に政府の緊急事態宣言

・また、上記の時点で（ア）が発令されていなく大会開催を判断しても大会当日までに（ア）が発令された場合は大会中止となる。ただし、緊急事態宣言においてスポーツイベントの開催が制限されていない場合はこの限りではない

6. 全ての大会関係者への日常的な体調管理等の要請

- 6-1. 日常的に政府や地方自治体の方針に従うこと
- 6-2. 全ての大会関係者の日常的な健康チェック
- 6-3. 全ての大会関係者の日常的な行動記録

7. クラブチームの大会参加条件（※）

- 7-1. 大会参加にあたっての誓約書の提出
- 7-2. 大会エントリーメンバー内に感染予防対策担当者を 1 名設置
- 7-3. チーム関係者の大会当日および大会当日を含まず前後 2 週間の健康チェックを行い、JBFA へ報告すること
- 7-4. チーム関係者の大会当日および大会当日を含まず前後 2 週間の行動記録管理を行い、JBFA へ報告すること
- 7-5. 大会にエントリーしているチーム関係者が「大会当日の体調確認書 兼 誓約書」の「本日の体調チェック」において「いいえ」の項目がないこと。（仮に当日体調不良者が朝段階で判明した場合は、その関係者は来場しないこと）

- 7-6. 大会エントリーは1クラブチーム16名までにすること
- 7-7. 手引き者：視覚障がい者＝1：1になるようにすること
- 7-8. ドリンクボトル等の複数人での飲み回しは禁止
- 7-9. 来場時間は、該当試合の2時間前から可能、試合終了後は速やかに帰宅をする
- 7-10. 大会規定で認められる場合は、他チームから選手を追加することができる。ただし追加される選手は、大会当日及び大会当日を含まない前後2週間は本来所属しているチームの対面トレーニングに参加することができない。大会前に対面トレーニング参加する場合は、JBFAに事前申請が必要
- 7-11. 大会会場でのチーム間交流は原則禁止
- 7-12. 大会当日および大会当日を含まず前後2週間以内のクラブチーム内または複数クラブチームでの対面での懇親会等を開催しないこと
- 7-13. 大会当日および大会当日を含まず前後2週間以内の複数クラブチームによる合同トレーニングや練習試合を開催しないこと
- 7-14. 大会当日および大会当日を含まず前後2週間以前以後の期間で複数クラブチームによる合同トレーニングや練習試合を実施する場合はJBFAに申請をし、承認を得ること（以下7-15から7-17の条件の条件を満たしていること）
- 7-15. 各クラブチームの主たる活動都道府県に政府の緊急事態宣言がでていないこと。ただし、緊急事態宣言においてスポーツイベントの開催が制限されていない場合はこの限りではない
- 7-16. 大会エントリーメンバーの居住地の都道府県に政府の緊急事態宣言がでていないこと。ただし、緊急事態宣言においてスポーツイベントの開催が制限されていない場合はこの限りではない
→上記の項目はエントリーメンバー個人として大会参加ができなくなる
- 7-17. 報告事項において虚偽がないこと

(状況に応じて緩和する条件)

- ・1クラブチームの大会エントリー人数制限
- ・クラブチームの来場時間

8. 大会参加にあたってのクラブチームトレーニングの留意点

トレーニング全体を通じて注意すること

- 8-1. 人と人の接触を減らすことに努めること
 - ・同じ時刻に練習場に来る人数を減らす
 - ・同時に同じ部屋にいる人数を減らす
- 8-2. 全員が感染防止マナーを守ることに努めること
 - ・プレー中やプレーを想定した練習時に発生する接触を除き、社会的距離(できるだけ2m、最低1m)をとる
 - ・咳エチケット(マスク着用を含む)
 - ・手洗い、手指消毒 不用意に自分の顔、とくに目・鼻・口などの粘膜に触れない

- ・握手、ハイタッチ、抱擁は禁止
- ・唾吐きや大声を避ける
- ・飲料水等の回し飲みはしない

8-3. グラウンドでの唾・痰吐き、うがい等は禁止（※）

- ・唾・痰吐き・うがい等は、飛沫が飛び感染の原因になるため絶対にやめるという意識を持つ

8-4. 練習場へのアクセス

- ・公共交通機関の利用は極力避けること

8-5. 練習への参加（※）

・練習会場や選手の居住地に移動の制限が出されている場合は、各自治体の要請に準じて適宜判断すること

- ・練習前の体温チェック等を行い体調が悪い者は帰宅させる

8-6. マスク着用（※）

- ・選手：トレーニング中以外は着用
- ・監督、コーチングスタッフ：トレーニング中含め常時着用
- ・その他スタッフ：トレーニング中含め常時着用

*熱中症の危険がある場合は上記の限りではない。休憩をこまめにとること

8-7. 手指消毒液の設置（※）

- ・トレーニング場に手指消毒液を設置し常時消毒できる体制をとる

8-8. ミーティングについて

- ・対面でのミーティングは実施しないように努める
(ビデオミーティング等を推奨)

9. クラブチーム内で感染者が発生した場合の対応（※）

・新型コロナウイルスは潜伏期間が 1-14 日間であり、感染性（人から人へ感染すること）がある期間は発症日の 2 日前からと指摘されている

- ・クラブチーム活動について

9-1. 感染者または感染が疑われる関係者はチーム活動から隔離しなければならない

9-2. クラブチーム内に感染者または感染の疑いがある者が確認された場合、クラブチーム内に感染者または感染の疑いがあるものが確認された場合、チームの感染予防対策担当者から大会運営グループに速やかに報告しなければならない

9-3. チーム関係者に感染者が発生した場合の対応

- クラブチーム内に濃厚接触者がいないと確認できる場合

→感染者をチームから隔離することでクラブチーム活動を続行することが可能

- クラブチーム内に濃厚接触者はいるがごく一部の者に限られクラブチーム内で感染が拡大しないと考えられる場合

→感染者と濃厚接触者をチームから隔離することでチーム活動を継続することが可能

- クラブチーム内に濃厚接触者が多い場合（例：発症日と 2 日前の期間において発症者と一緒に対面のトレーニングをしている）

→チーム内での最後の発症日から2週間はチーム活動を停止

●発症日2日前において大会に参加をしている、また、他のクラブチームと合同トレーニングをしている場合

→発症者がいるチームと接触があった他クラブチームも2週間活動停止。

9-4. 感染の疑いのある者が発生した場合

●自主的に隔離をすること（保健所や病院の指示を受け療養等をする）

●検査等で陰性となった場合はチーム活動に合流可

●検査前に症状がなくなった場合は医療機関の許可をもらうことでチーム活動に合流可

*クラブチーム単位で独自にPCR検査等を受けている場合はこの限りではない

*日常的な行動記録をつけていない場合等の理由で感染者の行動記録が確認できない場合は、クラブチーム全体、全クラブチームが活動停止になる場合もある

10. クラブチームの移動・宿泊について（※）

10-1. 移動中はマスクを必ず着用しなければならない（移動中の食事にて感染が疑われるケースも発生しているので、密室空間での移動（新幹線、電車、バス）中の食事は対面で行わないなど留意する）

10-2. クラブチームトレーニング、大会参加に関わらず公共交通機関の使用は極力避けること

10-3. 公共交通機関を使用する場合も大人数で移動するのではなく、数グループに分けて移動することに努めること

10-4. 座席は間隔を開けて座る等ソーシャルディスタンスを保てるようにすること

<https://www.ana.co.jp/ja/jp/topics/notice200502/>

<https://www.jreast.co.jp/ass/pdf/20200407.pdf>

10-5. 貸切バスの場合、バス内でもマスクを着用し1時間に3回程度の換気をするよう努めること

10-6. クラブチームトレーニング時の宿泊は極力避ける（合宿等）

10-7. 大会参加時に伴い前泊、後泊が必要な場合はJBFAに届出をし、複数クラブチームが同一ホテルに泊まらないようにすること

11. 大会運営について

いかなるシナリオでも必要不可欠な安全管理プラン

11-1. 2週間以内に2会場以上で試合が実施される場合、参加クラブチーム、大会運営スタッフ、重要ステークホルダー、大会運営ボランティア、大会関係スタッフ、審判団、医事スタッフ等は同じにならないようにしなければならない

（*大会運営スタッフでPCR検査を受け陰性が明らかな場合この限りではない）

11-2. 1会場最大4チーム、1チームあたり1日最大2試合までの実施にしなければならない

11-3. 大会運営スタッフ、重要ステークホルダー、大会運営ボランティア、大会関係スタッフ、審判団、医事スタッフ等の関係者は日々の健康チェック、行動記録をつけることを要請する

11-4. 大会当日および大会当日を含まず前後2週間における大会運営スタッフ、重要ステークホルダー

一、大会運営ボランティア、大会関係スタッフ、審判団、医事スタッフの日々の健康チェック、行動記録は義務とする

11-5. 全ての大会関係者は「大会当日の体調確認書 兼 誓約書」の「本日の体調チェック」において「いいえ」の項目がないこと

11-6. 大会に関わるスタッフ・関係者は最低限としなければならない

11-7. 大会運営一般ボランティアは募集しない

11-8. 全ての大会関係者はマスクを着用とする（※試合中の選手、ガイド、監督は除く。ベンチ入り選手、スタッフはマスク着用する）

11-9. ゾーニングについて

ゾーニング①：競技関係者（クラブチーム、審判、オフィシャル）

ゾーニング②：観客、メディア

→ゾーニング①②は極力導線が重ならないようにする

11-10. 観客について

観客は以下の要件を満たすことで来場可能とすることができる

（ア）不特定多数ではないこと。大会後に連絡が取れること

（イ）来場時に「大会当日の体調確認書 兼 誓約書」の「本日の体調チェック」において「いいえ」の項目がないこと

（ウ）スタンドを設置しない場合：サイドフェンス沿いに 40 人まで（※観戦者は 2m 間隔を開けて 2 列になる。サイドフェンス沿いのメディアエリアを含む）

（エ）スタンドを設置する場合：1 席ずつ空けて着席

（オ）観客を特定できるようにするため、観客の優先順位としては、①地方自治体／スポンサー関係 ②みらいパートナー／青組とする。一般の観客は特定できない可能性があるため会場への来場はできない

11-11. メディアについて

メディアは以下の要件を満たすことで来場させることができる

（ア）不特定多数ではないこと。大会後に連絡が取れること

（イ）来場時に「大会当日の体調確認書 兼 誓約書」の「本日の体調チェック」において「いいえ」の項目がないこと

11-12. 体験会等の大会併催イベントについて

（ア）事業推進部 D&I グループの体験会を再開していることを条件に併催イベント実施可

11-13. その他

（ア）体調不良者が来場しないように周知・告知（ニュース等）

（イ）代表者会議等は大会前日までにオンラインツールで実施をする

（ウ）受付等に手指消毒液を設置

（エ）人と人が対面する場所（受付）等にはアクリル板や透明シートを使用し遮断する

（オ）会場内では極力、配布物や金銭のやりとりがないようにする

（カ）屋内の諸室は可能な限り使用しない

（キ）手洗いを促す掲示等を行う

- (ク) ゴミ箱は設置しない
- (ケ) 会場内でのソーシャルディスタンスの促進のための掲示啓蒙
- (コ) 選手同士が密に接するため選手入場等も行わない
- (ケ) 国内中規模大会において適切なトレーニング期間が確保できていないと判断される場合は試合時間や試合数を調整し選手の安全に留意する

比較的厳しく安全管理するプラン

- 11-14. 特定できる観客を含む全ての観客が来場不可
- 11-15. 体験会等の併催イベントなし

厳しく安全管理するプラン

- 11-16. 大会運営スタッフはプライベートの行動含め制限
- 11-17. 特定できる観客を含む全ての観客が来場不可
- 11-18. メディア受付も不可
- 11-19. 体験会等の併催イベントなし

12. その他

- 12-1. 1ヶ月ごと、もしくは感染状況、社会状況により適宜方針の見直しを行う
- 12-2. 2021年9月以降の大会については2021年8月以降に方針策定（予定）
- 12-3. 下記の体調確認書 兼 誓約書は大会当日に提出する
- 12-4. 健康管理フォームは、各大会エントリーチームに後日共有する
- 12-5. 日本代表チーム活動は、感染対策を最大限行ったうえ、継続実施していく予定である
- 12-6. 大会開催都市に政府からの緊急事態宣言以外の発令・要請がされた場合は、必要に応じて大会運営委員会で協議をし、開催可否を判断する（都道府県独自の発令・要請も含む）

大会名 (会場)

大会当日の体調確認書 兼 誓約書

本日の体調チェック 体温【 °C】 測定/記入時刻【 : 】

	健康状態のチェック項目	はい	いいえ
1	平熱を超える発熱（おおむね 37.5℃以上）がない。		
2	咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状がない。		
3	だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がない。		
4	嗅覚や味覚の異常がない。		
5	体が重く感じる、疲れやすい症状がない。		
6	新型コロナウイルス感染症陽性とされた人との濃厚接触がない。		
7	同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がない。		
8	過去 14 日以内に政府からの入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がない。		

誓 約 書

大会に参加するにあたり、健康上問題がないことを確認の上、自分自身の健康管理には最新の注意を払い参加します。また、大会後に新型コロナウイルス感染症の疑いや陽性が明らかになった場合、直ちに NPO 法人日本ブラインドサッカー協会に連絡をします。

年 月 日

〒

住 所：

ふりがな

氏 名：

(歳)

緊急時連絡先（本人携帯電話番号）：

※該当箇所にチェックをお願いします。

☐ チーム（ご所属： ） ☐ ボランティア（ご所属： ）

☐ 運営スタッフ ☐ 審判団 ☐ 医事スタッフ ☐ メディア

☐ その他（ご所属： ）

*個人情報の取扱いには十分配慮いたします。（1ヶ月保管した後、破棄します。）

*万が一の場合、行政機関等への情報提供することをご了承ください。

ご協力ありがとうございました。

合同トレーニングまたは練習試合実施申請書

NPO 法人日本ブラインドサッカー協会
事業推進部大会運営グループ 担当者 宛

申請年月日 年 月 日

チーム名 _____

申請者氏名 _____

大会開催方針を遵守し合同トレーニング・練習試合（どちらかまたは両方を○囲み）の実施を申請します。

		備 考
日程	年 月 日 ～ 年 月 日	
会場名称		屋外 or 屋内
会場住所		
参加チーム名		
参加予定者	延べ 人	